

科目名	図画工作指導法Ⅰ		科目コード	2023	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	講義
教員名	車谷哲明				
授業の目的及びテーマ					
<p>幼児・児童の造形活動を指導するにあたり、保育及び授業の設定の仕方や基礎的な学習理論を理解させ、具体的な授業場面を想定した授業設定の方法等を身につけさせる。</p>					
授業概要					
<p>造形活動における指導計画の作成や授業設計の方法を実践的に学び、模擬授業を通して発問や授業展開の方法を考えていく。また、効果的な教材や情報機器等の活用についても議論していく。 美術教育団体の長や教育委員会指導主事（図工・美術）の経験を活かし豊富な実践例を通して指導力の向上に努める。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：ガイダンス「子どもと造形活動」① 新学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を知る。</p> <p>第 2 回：「子どもと造形活動」② 新学習指導要領に示された内容の全体構造を把握し、学年別の傾向を知る。（作品鑑賞を通して）</p> <p>第 3 回：「子どもと造形活動」③ 造形活動の意欲化と評価についての方法を学ぶ。（形成的評価とポートフォリオ）</p> <p>第 4 回：「子どもと造形活動」④ 保育所・幼稚園での造形活動と小学校低学年との関連から教科として育成すべき能力を明確にする。</p> <p>第 5 回：「子どもと造形活動」⑤ 図画工作科と他教科との関連について（教科横断的な取り組みや生活科、総合的な学習の時間との関連）</p> <p>第 6 回：「授業づくりのポイント」① 図画工作科の学習指導案の作成について（子どもの実態に合わせた題材の設定から計画作成まで）</p> <p>第 7 回：「授業づくりのポイント」② 導入の工夫と板書計画（子どもを引き付ける題材名の検討や発問の工夫について）</p> <p>第 8 回：「授業づくりのポイント」③ 授業展開の工夫と鑑賞活動（振り返り活動の大切さ）</p> <p>第 9 回：図画工作科における情報機器の活用 授業内において効果的な機器の活用方法について実践例をもとに考える。（ipad を使って）</p> <p>第 10 回：学習指導案の作成 工夫ある指導案を参考に自分なりに指導案を作成する。（グループ討議も含めて）</p> <p>第 11 回：模擬授業の展開① 各人が作成した指導案をもとに授業の導入から展開初発までを実施する。</p> <p>第 12 回：模擬授業の展開② 各人が作成した指導案をもとに授業の導入から展開初発までを実施する。</p> <p>第 13 回：模擬授業の展開③ 各人が作成した指導案をもとに授業の導入から展開初発までを実施する。</p> <p>第 14 回：図画工作科授業の改善と工夫（視覚的な情報の活用・電子黒板等を利用して）</p> <p>第 15 回：授業づくりのポイント 授業計画から実践・評価の中で大切にすべきことについて。評価テスト。</p>					
テキスト	<p>小学校教育課程実践講座 図画工作 出) ぎょうせい出版 著) 奥村高明 新学習指導要領にもとづく こどものアート 著) 編著 車谷哲明・井関和代</p>	参考文献	<p>幼稚園教育要領、小学校学習指導要領 図画工作編 出) 文部科学省</p>		
評価方法: テスト、指導案・レポート等					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					